

芦原小学校と 他校の格差解消は

本橋 健造 議員

議員 芦原小学校と他校の格差を解消するため、給食の自校方式の導入やランチルームの整備は、古い校舎の学校を優先すべきではないか。
また、そうした意味から芦原小学校の開校に合わせて、4年生以上に限定し、通学区の自由化としてはどうか。



17年4月開校の芦原小学校（模型）

議員 増築を予定している学校から優先整備し、それ以外の学校については、順次整備を考へる際に、検討要素の一つとして考へてまいります。

戸田ふるさと祭りを
見直しては

議員 戸田ふるさと祭りはメイン行事がなく、マンネリ化している。来年は30年目の節目の年でもあり、市の特性である荒川やポートコースなどの水辺空間を利用し、多くの市民が楽しめ、喜んで参加できるお祭りに衣替えしてほしいか。

総務部長
川口三三 氏

議員 交通弱者対策が難しい横断歩道橋については、撤去を前提とした交通安全対策を考へては。そこで、とりあえず、新第一、上戸田第一、下前の3歩道橋を撤去してはどうか。

横断歩道橋の
交通弱者対策は

議を醸成するため、戸田ふるさと祭り実行委員会の中・長期構想会議においてさまざまな観点から検討し、多くの市民が「参加してみたい」「お祭りを目標したい」と考へております。

総務部長
川口三三 氏

市民の自主的活動を支援 する拠点の設置を

山崎 雅俊 議員

今後、市民活動が活発化していくためには、各種団体の連携や情報交換、活動の場の共有などの配置計画や有効利用の視点から、既存施設の活用や他の施設との併設なども考慮しながら、市民活動に最適な支援形態や体制を早急に検討したいと思っております。

学童保育の充実、改善を

議員 学童保育をさらに充実させるためにも、障害児の学童保育を含め、教育委員会と福祉部の間で十分な協議が必要ではないかと考へる。

また、本年度一部において開設された、夏休みにおいて



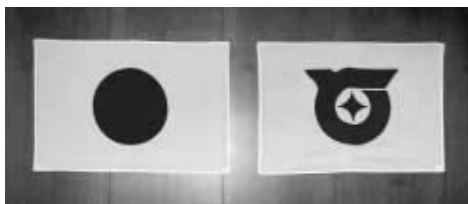
戸田市でも早急に検討を

福祉部長 問題点や将来的な展望など、事業の移管も念頭に置きながら検討する必要があります。
また、障害児の学童保育につきましては、緊急課題として、補助等について早急に対応してまいります。

小中学校の 「学校選択制」の導入を

渡辺 武男 議員

議員 近隣の川口市や藤市では、小中学校の「学校選択制」を導入または導入を決めている。戸田市でも、ぜひ導入すべきと考へるがどうか。



国旗と市旗

議員 現在は、小中学校と通学区を設定してはいるが、必要に応じて指定校変更や区域外就学を認めていきます。しかし、今後、学校選択制の導入によって、各学校が互いに高め合い、教育の質を向上させ、これまで以上に市民の信託に応えていかなければなりません。

議員 平成11年に「国旗及び国歌に関する法律」が制定された。国旗掲揚については強制されていないが、行政体としても、法の趣旨にのっとり、対応すべきと考へる。

国旗・市旗の掲揚を

そこで、戸田市の市長室及び本会議場に、国旗と市旗の掲揚をすべきと考へるが、どうか。

総合政策部長
議場への掲揚については、議場におきまして協議いただき、その方向性や結論を示していただくことが肝要と考へます。

市長室への掲揚につきましては、議会で示された方向性や結論に沿い、歩調を合わせてまいりたいと考へます。

福祉の杜の高齢者住宅構想 は進んでいるか

神谷 雄三 議員

さらに有用な施設とせよ。
福祉部長 満調整交付金は、基準の5%に大きく不足しています。減額分は1号被保険者（65歳以上）の保険料押し上げの要因となっております。戸田市としても、5%のまま配分されるよう強く働きかけていきます。適真に施設利用が必要な人のため、果から入所指針が示され、それで運用しています。介護度、介護者の状況、在宅介護の状況、住所地の4要素からなっています。現在は、果の指針のまま運用しています。

市民生活部長 本来的には利用者のモラルの問題ですが、JRに新たな取り組みを求めて協議していきます。



歩行の妨げです

滞在福祉を進める基本は、居住を継続する場の確保です。戸田市は、高齢者の持ち家率が低いとされています。福祉の杜計画の中で、高齢者の住宅は優先的に考へなければなりません。誰を対象とするのか、どういったタイプかなど早急に検討を進めてまいります。

議員 違法駐輪対策として、撤去という方法で臨んでいる。自転車利用者は市内3駅の場合、ほとんどがJRか駅ビル利用者である。JRの問題と捉え、JRの主体的取り組みを促すべきではないか。